

# おびひろ会

発行所 東京帯広会事務局  
東京都世田谷区祖師谷4-31-13-101  
TEL 090-7947-5439

印刷所 大同出版紙業株  
帯広市西7条南6丁目  
TEL 0155-23-5107

発行人 田中 稔  
編集責任 古谷美津子

第94号



松崎町桜便り2024／撮影 古谷美津子

**2024 SUMMER**

**暑気払い**

今年は  
新橋でビールを!!

サラリーマンの努力と夢が  
詰まった街で乾杯しよう。

**会場** ビヤホール  
銀座ライオン 新橋店  
港区新橋1-15-5  
ペルサ1115 3F  
TEL 03-3591-5511

**とき** 7月13日(土)  
午後1時～午後3時

**会費** 6000円

\* 参加ご希望の方は事務局まで  
お電話またはメールにてお申  
込みお願いします。  
会員の方はもちろん、知人、  
友人などなたでも「出席頂けま  
す。定員35名

**TEL**  
090-7947-5439  
**MAIL**  
paysnata1965@gmail.com  
marionette0714@yahoo.co.jp

**十勝の恵みを  
スイーツで**

北海道・十勝の中心地、帯広にある菓子店です。地元の豊かな食材を使ったスイーツをどうぞ。

**ナチュラルチーズケーキ  
北海道フロマージュ**

お取り寄せはこちら

Online Shop

ふるさと納税サイト

この他のサイトにも掲載しております。

〒080-0016 帯広市西6条南17丁目3-1 TEL / 0155-21-0101  
営業時間 / 10:00～18:00 (カフェは～17:00)



## ご挨拶

東京帶広会会長

田中

稔

青葉が香る初夏の風が吹く季節、東京帶広会の皆様には益々ご清祥のことお喜び申し上げます。昨年コロナ感染症の5類移行に伴い、十勝の各ふるさと会も活動を開始し楽しい時を過ごすことが出来たようになりました。

10月22日(日)に東京帶広会の総会・懇親会を1年ぶりに開催し、帶広市から米沢市長、横山市議会議長、上田北海道東京事務所長、十勝ふるさと連合会等多くの関係各位の皆様の出席にて会員の方々との交流を深めることができましたことにお礼申し上げます。

新年早々に能登半島大地震、羽田・日航機事故と不安な年を印象付けることとなりました。被災されました皆様にお見舞い申し上げ一日も早い復興を祈るばかりです。

ふるさと十勝帶広では昨年11月にISUワールドカップスキーのスピードスケート帶広大会が帶広の森で行われ、高木美保選手や森重航選手などが優勝・活躍され、「スケート王国・十勝帶広」がより期待されることを嬉しく思います。また、今年1月には帶広市民が毎年楽しみにしている氷祭りが緑ヶ丘公園で開催され、久しづりに厳しい帶広の冬を感じました。

昨年は地球温暖化による異常な高温により農業、漁業や酪農などに大きな被害が発生しましたが、今年は実り多い年になることを願っています。

東京帶広会は会報の発行、会員の増加、十勝ふるさと連合会との連携、姉妹都市松崎町との交流などを中心に活動し、帶広市を始め市議会、帶広商工会議所、賛助会員・協賛関係各位の皆様と連携してふるさと十勝帶広を応援し、会員の皆様との架け橋になるよう活動したいと思います。

## 元気ある街 十勝・帯広

報告

# 令和5年度総会・懇親会

令和5年度の「東京帶広会総会及び懇親会」が、10月22日(日)爽やかな秋晴れのもと、ホテルグランドビル市ヶ谷にて、来賓、関係者そして多くの会員の方の出席を得て開催されました。開会にあたり、田中会長から来賓の方々へ謝辞が述べられ、また、今夏は過去にない厳しい夏となり、十勝・帯広も農畜産物が被害を受けたとのこと、藤丸、長崎屋閉店など帶広の経済や農業の現況について、来賓の方々からお話を伺いながら、ご歓談を楽しんで頂きたいと挨拶されました。

**■田中会長一期目に期待**

総会は菊池理事の司会で開会し、議長に田中会長を選出し審議に入りました。第一号議案は、令和4年度に行つた、東京帶広会50周年記念品の帶広市への寄贈や姉妹都市松崎町との交流などの事業および決算・監査報告、第2号議案は令和5年度の事業・予算計画、第3号議案は役員改選の3議案が審議され、満場一致で承認されました。

議事終了後、来賓の米沢則寿帶広市長・横山明美帶広市議会議長・上田晃弘北海道東京事務所所長・斎藤雅彦十勝毎日新聞社東京支社長・惣田浩北海道新聞社東京支社長からお言葉を、また、中川郁子衆議院議員、川田章博帶広商工会議所会頭からは祝電を頂きました。

米沢市長はご挨拶のなかで、帶広市は、25才から50才の人口が転入超過で、これは今まで帶広市が取組んで来た「フードバーーとかち」を核とした仕事作りの成果であること、ある調査では住みたい街のトップに評価されていること、街の元気さの指標である税収・土地価格・人口増のうち人口を除いて増加上昇していることなどから、帶広市は元気がある街だと述べられました。また、十勝広域消防事務組合が評価されていること、北海道で帶広地方卸売市場が唯一百周年を迎えたことなどが報



文・写真／江川 理恵



かねてより検討されておりました「日高山脈襟裳国定公園」がこの夏ついに「日高山脈襟裳十勝国立公園(仮称)」に昇格することが決定いたしました。新たな名称に「十勝」とはっきり明記されることがこの6月には決定しそうです。このことによって、一段と十勝ブランドが上がり、地域がさらに活性化することを期待して止みません。

そこで今回は、「そもそも国定公園と国立公園は一体何が違うのか?」

そして、「日高山脈十勝国立公園(仮称)の範囲は一体どこで、何が魅力なのか?」について、考えてみたいと思います。

周りの方に、「国立公園になりましたね」と問いかけられた時、胸を張って説明ができるようなお手伝いが、少しでもできましたら幸いです。

## ①国定公園と国立公園は何が同じで何がちがうのか?

環境省HPによると、『国立公園は環境大臣が自然公園法に基づき指定し、国が直接管理する自然公園です』。とあります。

一方国定公園は、『国立公園に準じる景勝地として、自然公園法に基づき、環境大臣が関係都道府県の申出により関係都道府県が区域を定めて指定し、都道府県が管理しています。』とあります。

つまり、どちらも日本の中でもとりわけ自然が豊かで美しい景観であることが選定基準であることは同じなのですが、国立公園は国が直接管理するのに対し、国定公園は都道府県が管理するというところが大きく違います。

現在日本には、34箇所の国立公園、58箇所の国定公園があります。

それがこの夏、35箇所目の国立公園として「日高山脈襟裳十勝国立公園(仮称)」が誕生するということになります。

国立公園については、『次の世代も、今と同じ感動を味わい楽しむことができるよう、優れた自然を守り、後世に伝えていくところ』という位置付けです。すなわち国をあげて保護されているところということになりますが、近頃はその考え方方も少し変化し、国立公園の観光の考え方方が「保護」と「利用」の両輪へとシフトしています。この件に関しては、次の号で詳しく書きたいと思います。

## 「日高山脈襟裳十勝国立公園(仮称)」の範囲と魅力

### ①範囲

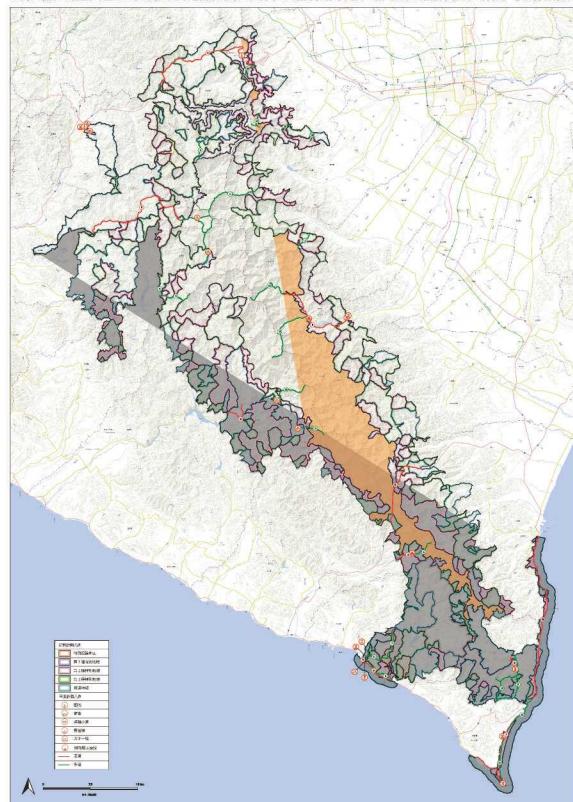
新たな国立公園は、周辺地域を含めて陸域が約24万5700ha、海域が約6500haであり、なんと現在の国定公園の2倍以上の面積となり、大雪山国立公園(約22万7000ha)を上回る国内最大規模になると、環境省は2023.11.9に発表しています。

### ②魅力

北海道中央南部に位置する日高山脈は火山地域ではなく、昔々、北アメリカプレートとユーラシアプレートの衝突によって生じた褶曲山脈です。このエリアでは、深く原生的な森林生態系と、日本最大の原生流域面積を持つ河川を軸として、森と海を繋ぐ豊かな清流が織りなす景観を有する偉大なる自然の景勝地であることが魅力と言えます。次回は、そのような壮大な国立公園の構成市町としての帯広の魅力を掘り下げていきたいと思います。



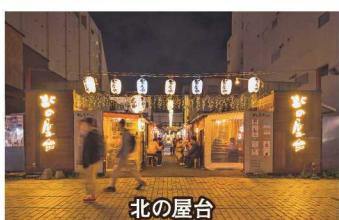
日高山脈及び襟裳岬並びにその周辺地域を構成地域とする国立公園(名称未定)区域図及び公園計画図(全体図)【環境省原本】



## アワード2024 を受賞

### ◇ 帯広・十勝ニュース

帯広市は今年、美食都市研究会と雑誌「料理王国」が共同で創設した「美食都市アワード」を受賞しました。



この賞は、美食（食の豊かなあり方）の観点から、その地域固有の文化と食の魅力を活かして、新しい文化やビジネスを生み出すことで、結果として国内外から観光客を惹きつけ、その地方都市の価値を高めることに成功した都市を表彰するものです。創設初年の今年は、食と観光に精通した5名の審査委員が推薦した全国51都市から、厳選された5名が認定されました。

審査にあたっては、食べ歩き地区、その土地特有の食に對して意欲的なシェフやレストラン、地元の生産者と特産品、フレーフエスティバル、自治体の取り組みなどの充実度が重視され、帯広市は、十勝が一体となって推進している食と農林漁業を柱とした地域産業政策「フレーフエスティバル」と農林漁業を柱とした地域産業政策「フレーフエスティバル」とともに、「とかちマルシェ」や、十勝最大級の食と音楽のイベント「とかちマルシェ」ほか、全国の屋台ブームの先駆けとなり、中心市街地にぎわいを創出している十勝産食材を活用した「北の屋台」など、地域の資源や強みを活かした多様な取り組みが評価されました。

される予定です（※一度受賞した都市は審査対象外）。審査にあたっては、食べ歩き地区、その土地特有の食に對して意欲的なシェフやレストラン、地元の生産者と特産品、フレーフエスティバル、自治体の取り組みなどの充実度が重視され、帯広市は、十勝

が、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、世代を超えて地域を受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化として認定したものでした。

「100年アワード」とは、文化庁が、豊かな自然風土や歴史に根差した多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、世代を超えて地域を受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化として認定したものでした。

## 豚丼が文化庁の 「100年アワード」 に認定

今年は、食と観光に精通した5名の審査委員が推薦した全国51都市から、厳選された5名が認定されました。



このプロジェクトは2021年度からスタートし、「伝統の100年アワード部門」江戸時代から続く郷土の料理「近代の100年アワード部門」「明治・大正に生まれた食文化」「未来の100年アワード部門」の3つの部門があり、これまでに全国200件（うち北海道内5件）の食文化が認定されています。

今回の受賞が、域外からのさらなる誘客やまちのにぎわいにつながることを期待しています。

「100年アワード」に認定された。そのほか、「釧路のそば（釧路そば商組合）」「石狩鍋（いしかり地産地消の店推進協議会・石狩鍋部会）」「ひる貝カレー（一般社団法人余市観光協会）」の北海道内4件を含む全国計50件が「100年アワード」に認定されました。

豚丼は、昭和初期に帯広市内の食堂で、「鰻丼」をヒントに、焼いた豚肉に甘辛いタレを使用した丼を作ったのが発祥といわれています。その後、豚丼は帯広の飲食店で普及していく、市民に愛される郷土料理となり、今では観光や出張で訪れる方からも愛される帯広名物になっています。

今後も地域の歴史や風土の中で育み、世代を超えて受け継がれていくことを期待しています。

として今後100年の継承を目指す「未来の100年アワード」に目指せ、100年！」

に認定されました。そのほか、「釧路のそば（釧路そば商組合）」「石狩鍋（いしかり地産地消の店推進協議会・石狩鍋部会）」「ひる貝カレー（一般社団法人余市観光協会）」の北海道内4件を含む全国計50件が「100年アワード」に認定されました。

今回、豚丼は、地域の誇り

### Profile



江川 理恵

Rie Egawa

北海道伊達市在住39年目。北海道生活の始まりは帯広から。道知事認定の北海道アウトドアガイド&北海道アドベンチャートラベルガイドとして活動し、時に執筆活動もする。

#### ・ガイドショップ Sotoasobu

「Sotoasobu」北海道 洞爺湖有珠山ジオパーク周辺ガイド sotoasobuguide.com

#### ・記事の主な寄稿先 (ペンネーム Rietty)

北海道洞爺湖周辺の情報共有サイト「むしゃなび」 mushanavi.com



# 賛助会員一覧

(敬称略・順不同)

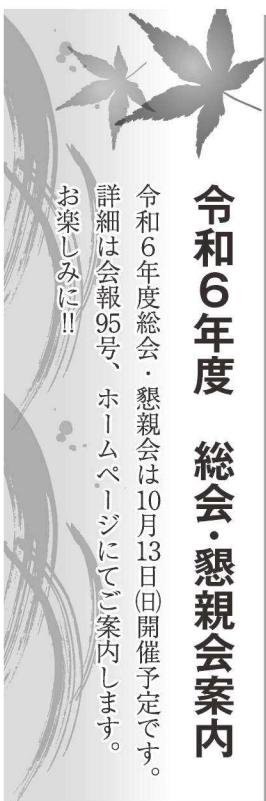
令和六年四月十日現在

帶広市議会	帶広市議会議長 横山明美	帶広畜産大学関東同窓会	社会医療法人 博愛会 開西病院
帶広市議会副議長 楢山直義	帶広地方卸売市場株式会社	代表取締役社長 高嶋昌宏	株式会社福原
立憲民主・市民連合会長 菊地ルツ	川田工業株式会社	代表取締役社長 廣島麻子	プリマハム株式会社 北海道工場
市政会会長 有城正憲	医療法人コスマ歯科高田	理事長 高田	株式会社満寿屋商店
公明党会長 大竹口武光	三洋興業株式会社	代表取締役社長 川田章博	工場長 林吉彦
一般社団法人帶広物産協会会長 杉野智美	株式会社曾我	代表取締役社長 杉山雅則	代表取締役社長 福原郁治
帶広商工会議所会頭 川田章博	代表取締役	高田	代表取締役社長 林吉彦
日本共産党帶広市議員団団長 小倉豊	株式会社ダイイチ	高田	代表取締役社長 梶原雅仁
一般社団法人帶広物産協会会長 大竹口武光	代表取締役社長 若園	曾我浩昌	代表取締役社長 梶原雅仁
株式会社いちまるホールディングカンパニー 代表取締役 加藤祐功	大同出版紙業株式会社	笹井祐三	代表取締役社長 梶原雅仁
エノキフィルム株式会社 代表取締役社長 榎木一利	代表取締役	清	代表取締役社長 梶原雅仁
帶広市川西農業協同組合 代表理事組合長 有塚利宣	深澤知博	黙	代表取締役社長 梶原雅仁
一般社団法人帶広建設業協会 会長 萩原善教	株式会社太平洋興発	高田	代表取締役社長 梶原雅仁
帶広天正農業協同組合 代表理事組合長 有塚利宣	代表取締役社長 板垣好	森	代表取締役社長 梶原雅仁
株式会社十勝毎日新聞社 代表取締役社長 林浩史	ダスキン第60帶広工場株式会社	田村英祐	代表取締役社長 梶原雅仁
十勝信用組合 理事長 橋場幸一	代表取締役	小田英祐	代表取締役社長 梶原雅仁
帶広信用金庫 理事長 森和裕	株式会社ディスティリア京屋	高橋文英	代表取締役社長 梶原雅仁
東北海道いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 高薄宏徳	代表取締役	高橋勝坦	代表取締役社長 梶原雅仁
YSヤマショウ株式会社 代表取締役	株式会社六花亭	田村英祐	代表取締役社長 梶原雅仁
株式会社十勝毎日新聞社 代表取締役社長 林浩史	代表取締役	小田英祐	代表取締役社長 梶原雅仁
被災地の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。東京帶広会	被災にあわれた皆様の日常生活が一日も早く戻ることを願つてやみません。	令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。	被災地の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。東京帶広会

## 【令和6年4月1日以降の体制】

### 帯広市 経済部 観光交流室 観光交流課

職名	氏名	職名	氏名
部長	吉田誠	観光係主任補	須藤剛志
室長(次長職)	松本俊光	観光係主任補	尾籠辰哉
課長	阿部恭子	観光係主任補	遠藤稜佑
課長補佐	尾上裕子	観光係係員	高畠舞衣
課長補佐	藤原健	親善交流係長	西岡尚央
観光係長	高橋大輔	親善交流係主任補	大館泰彦
観光係主任補	金清加奈子	親善交流係主任補	小竹麻美
観光係主任補	佐藤一弥	親善交流係主任補	三浦惇輝
観光係主任補	須田考哉	国際交流係主任補	秋山青葉
観光係主任補	石野脩也	国際交流係主任補	佐藤歓
観光係主任補	松寿智		



## ■三拍子YouTubeラジオ

帯広市出身の高倉陵さんが東京出身の久保さんと組むお笑いコンビ「三拍子」。

4月より週一回見えるラジオ「おしゃべりバックビート」の配信を始めました。ニューラジオスタイルで皆さんもチャットで参加できます。

また、NHKの「笑ったび」など地域の魅力を伝える活動にも積極的で、ユニークなキャラクターとユーモアあふれる漫才で多くの人に愛され一層の活躍が楽しみです。

メッセージも  
随時募集！▶



おしゃべりバックビート

<https://www.youtube.com/hashtag/おしゃべりbb>



## ■帯広市東京事務所 所長交代のお知らせ

帯広市東京事務所長 松本俊光氏におかれましては4年間大変お世話になりましたが、4月1日の人事異動により、後任に大林健一氏が所長として着任されましたのでお知らせ致します。前任者同様にこれからも宜しくお願い申し上げます。

## 役員名簿

=令和6年度=

会長	田中	稔
副会長	影山	晴和
	草山	久彦
事務局長	古谷	美津子
理事	大和田	保幹
	古喜安	夫雄
	菊池	望樹
	辻桐	也人
	生	子
顧問	野森	呂田
		綾邦
監事	鈴西	村本
		英昌
		一人

## 新理事紹介



桐生 詩子



辻 拓人

東京帯広会の理事に就任致しました桐生詩子です。私は昭和50年に帯広で生まれ、東小学校、第六中学校、柏葉高校、札幌の大学を卒業後、結婚して東京在住22年となりました。帯広には春夏秋冬帰省しております。この度はこのような機会をいただき大変光栄に存じます。会員の皆様や帯広市の関係者の皆様と交流を図り、帯広のために尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

十勝池田町に生まれ帯広緑陽高校を卒業後、東京の大学に進学、就職、結婚、そして子供も誕生しました。そんな日々の中で自分を育ててくれた故郷に恩返しをしたいと思い東京帯広会へ入会し理事に就任しました。2年ほど前より帯広会のお手伝いをしている一番若い理事です。より多くの若い方にも興味を持ってもらえるよう皆さんのお役に立ちたいと思います。よろしくお願いします。

号が楽しみですね。5月、今年も棚田で田植えです。自給自足の始めはお米作りからと恥ずかしながら食育を体感しています。

(M·F)

深紅のツツジが咲き始め春から初夏へと移ろう季節、会報をお届けします。表紙はひと足早く満開となりました松崎町那賀川の桜です。菜の花畑もやさしい風に包まれゆつくり時間が過ぎる穏やかなところです。

この夏、国立公園へと指定される予定の日高山脈襟裳国定公園。北海道の背骨として十勝平野を支え、雄大な風景は多くの人を魅了してきました。自然の宝庫であることはもちろん、沈む夕日の美しさは自然の力強さと優しさを日々感じさせてくれます。その魅力を2回にわたり江川さんに探求して頂きます。次

## 編集後記

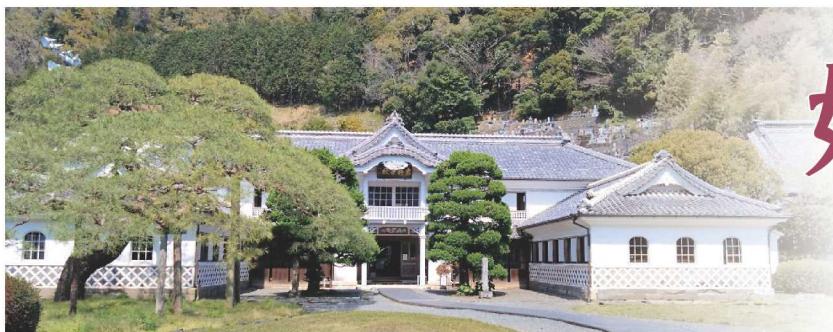
元東京帯広会理事でありました伊藤馨氏が令和5年6月6日逝去されました

平成16年から27年の約10年間当会の理事として会の発展のためご尽力されました  
心からご冥福をお祈り申し上げます

## 訃報

元東京帯広会理事でありました伊藤馨氏が令和5年6月6日逝去されました

平成16年から27年の約10年間当会の理事として会の発展のためご尽力されました  
心からご冥福をお祈り申し上げます



# 姉妹都市 交流

## ◆「松崎町 桜咲く中川三聖まつり」に参加！

3月31日（日）伊豆松崎町道の駅「花の三聖苑」での桜祭り。今年からは郷土の誇り「中川三聖」に感謝の気持ちを分かち合い、未来に継承していく…ということで桜咲くこの季節に開催されることとなりました。

「中川三聖」とは松崎町中川地区の三人の偉人です。幕末の漢学者土屋三余、実業家の依田佐二平、十勝原野（現在の帯広市）の先駆者依田勉三。彼らの功績を巡りながら花いっぱいの街を散策するのも楽しみのひとつです。

この日敷地内では青空露天市も開催され、帯広市からは六花亭、柳月のお菓子や豚丼のたれ、十勝産チーズ、ジェラードなどがテント内に並びました。朝早くから多くの人がテント内に溢れあつという間に完売。よつ葉乳業のバターミルクパンケーキミックスも「これ便利でとても美味しいの」と地元の方と笑顔で会話がはずみました。

ここ松崎町の那賀川沿いの桜は圧巻です。透き通るようなきらきらとした水面がより一層桜を美しく心和ませてくれます。温暖な美しいこの町から厳寒の十勝原野の開拓へと向かった依田勉三が率いていた晩成社にちなんだ「マルセイバターサンド」は今や帯広の銘菓です。今回は桜の季節を堪能しました。次回は5月に棚田での田植えです。その都度、姉妹都市松崎町の紹介もしていきたいと思います。



## ◆岩科学校、長八美術館、帰一寺を歩く

桜咲く那賀川を離れ、一度は訪れ外観を見るだけでも価値がある伊豆地区最古の小学校「岩科学校」。なまこ壁に和洋折衷の建物でバルコニーからの眺めは凜とした佇まいが感じられます。入江長八の作品もあります。明治時代の教育風景、教科書が展示され、教育の大切さを感じました。その後長八美術館で左官の名工伊豆の長八の作品を鑑賞。

翌日は、桜並木を見おろすように建つ700年の歴史ある古刹「帰一寺」を訪ねる。伊豆八十八ヶ所靈場の80番札所。江戸時代に盛んだった「伊豆88遍路」の復活プロジェクトも始まっているようです。

## 令和5年12月12日 ひとつ鍋を囲む会

依田勉三の命日、お墓参りのあと豚とひとつ鍋にちなんで「ひとつ鍋の会」を開催。地元の方のご厚意により旧依田邸の和室をお借りし20数名で石狩鍋を囲みました。海老、帆立、鮭が入り当時を思うと贅沢過ぎますが、味噌ベースの北の鍋を楽しんで頂きました。



北海道のおいしさを、まっすぐ。  
**よつ葉**

北海道のおいしさを、まっすぐ。

よつ葉乳業株式会社

060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目 北農ビル  
TEL (0120) 428-841  
<http://www.yotsuba.co.jp/>